



Cisco vWAAS のトラブルシューティング

この章では、Cisco vWAAS の運用上の問題を特定して解決する方法を説明します。
この章の内容は、次のとおりです。

- ディスクレス スタートアップおよびディスク障害の解決
- vWAAS デバイス登録のトラブルシューティング
- vWAAS 仮想インターフェイスの確認
- vWAAS ネットワーキングのトラブルシューティング
- Undersized Alarm のトラブルシューティング

ディスクレス スタートアップおよびディスク障害の解決

まれな状況においては、ホスト VM サーバ上の他の VM がシステム リソースの制御をリリースしない、または物理ディスクが応答しない場合に、vWAAS VM がディスクレス モードで起動することがあります。vWAAS デバイスは、disk01 に **disk_failure** クリティカル アラームを発生し、disk01 は交換されるまで、**show disk details EXEC** コマンドで「Not Used」と表示されます。

この障害から復旧するには、次の手順に従ってください。

ステップ 1 ディスクを再度イネーブルにします。

```
vwaas# config
vwaas(config)# no disk disk-name disk00 shutdown force
vwaas(config)# exit
```

ステップ 2 vWAAS をリロードします。

```
vwaas# reload
```

vWAAS デバイス登録のトラブルシューティング

各 vWAAS デバイスを WAAS CM に登録する必要があります。vWAAS デバイスが WAAS CM に登録されていないと、**show alarms** コマンドを使用したときに、「Not Registered Alarm ([図 12-1](#))」と表示されます。

図 12-1 `show alarms` コマンドの表示: Not Registered Alarm

```
vWAAS# show alarms

Critical alarms:
-----
None

Major alarms:
-----
      Alarm ID           Module/Submodule           Instance
-----
      1 not registered    vwaas/model                vwaas/model    <----- Not registered alarm
      . . .

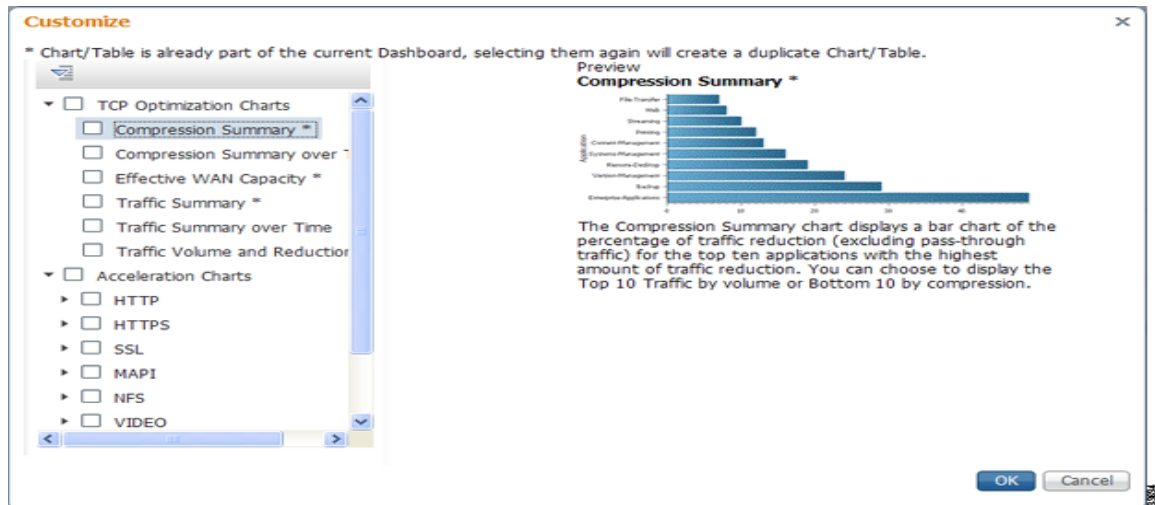
Minor alarms:
-----
None
```

vWAAS 仮想インターフェースの確認

vWAAS デバイスでは 2 つの仮想インターフェース、WAAS CM および CLI を利用できます。

WAAS CM に vWAAS 仮想インターフェースを表示するには、[Device] > [Configure] > [Network] > [Network Interfaces] の順に選択して、図 12-2 に示す画面を表示します。

図 12-2 [Device] ウィンドウのネットワークインターフェース



CLI では、`show running-config interface` コマンドを使用して、仮想インターフェースを表示します。仮想インターフェースの詳細を表示するには、`show interface virtual 1/0` または `show interface virtual 2/0` コマンドを使用します。

vWAAS ネットワーキングのトラブルシューティング

vWAAS デバイス上に接続が表示されない場合は、VMware VSphere Client を使用してネットワーク設定を表示し、vWAAS デバイスが正しい vSwitch に接続されているかどうかを確認します。

VSphere Client を使用してデバイス ページから vWAAS の接続をトレースするには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1 ネットワーク アダプタが接続されているネットワーク ラベルを特定します。
 - ステップ 2 このネットワークが接続されている仮想スイッチを特定します。
 - ステップ 3 この仮想スイッチのメンバーである物理 NIC を特定します。
 - ステップ 4 設定が正しいことを確認します。
 - ステップ 5 仮想スイッチがネットワークに到達するように正しく設定されていることを確認します。
 - ステップ 6 vWAAS デバイスで、設定された IP アドレス、ネットマスク、デフォルト ゲートウェイ、およびプライマリ インターフェイスを確認します。これらのパラメータの詳細については、「[vWAAS 仮想インターフェイスの確認](#)」を参照してください。
 - ステップ 7 vWAAS デバイスから、デフォルト ゲートウェイおよび WAAS CM に ping を実行して、到達可能であることを確認します。
-

Undersized Alarm のトラブルシューティング

適切なメモリおよびハード ディスク リソースが vWAAS デバイスに割り当てられていない場合、`show alarms` コマンドを使用したときに Undersized alarm が表示されます。[図 12-3](#) に、Undersized alarm が表示されている `show alarms` コマンドのサンプル出力を示します。

図 12-3 `show alarms` コマンドのサンプル出力:Undersized Alarm

```
vWAAS# show alarms



Critical alarms:
-----
None

Major alarms:
-----
      Alarm ID           Module/Submodule           Instance
      -----           -
      1 undersized       vwaas/model                memory      <----- Undersized alarm
      . . .

Minor alarms:
-----
None
```

[表 12-1](#) で、`show alarms` コマンドの出力に含まれるフィールドについて説明します。

表 12-1 show alarms コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
緊急アラーム (Critical Alarms)	<p>緊急アラームは、WAE を通過する既存のトラフィックに影響を与え、致命的と見なされます(WAE は、回復してトラフィックの処理を継続することができません)。</p> <p> (注) WAAS および vWAAS では、緊急、メジャー、およびマイナーという 3 種類のアラーム レベルが用意されています。アラームおよび show alarms コマンドの詳細については、『Cisco Wide Area Application Services Command Reference』を参照してください。</p>
メジャー アラーム (Major Alarms)	<p>メジャー アラームは、主要なサービス(キャッシュ サービスなど)が破損したか、または失われたことを示します。このサービスを復元するための緊急アクションが必要です。ただし、他のノードのコンポーネントは正常に機能しているため、既存のサービスへの影響は最小限に抑えられます。</p> <p> (注) WAAS および vWAAS では、緊急、メジャー、およびマイナーという 3 種類のアラーム レベルが用意されています。アラームおよび show alarms コマンドの詳細については、『Cisco Wide Area Application Services Command Reference』を参照してください。</p>
アラーム ID (Alarm ID)	アラームの原因となったイベントの種類。
モジュール/サブモジュール (Module/Submodule)	影響を受けたソフトウェア モジュール。
インスタンス (Instance)	このアラームが関連付けられているオブジェクト。 図 12-3 に示すように、このアラームのインスタンスはメモリです。[Instance] フィールドには事前定義済みの値はありません。各インスタンスの値はアプリケーションに固有です。

有効な OVA ファイルを使用して vWAAS を展開する場合、このアラームは表示されません。x に示すアラームが表示されたら、vWAAS VM を削除し、有効な OVA ファイルを使用して vWAAS VM を再展開してください。